



# 火の見櫓

(題字は 大松八尾市長)

発行所  
八尾市消防団  
八尾市高美町5-3-4  
TEL(072)992-0119  
FAX(072)992-7722  
発行責任者  
八尾市消防団長  
松村 康正  
刊行物番号 R5-36



## 第38回「大阪の消防大賞」受賞



### 「大阪の消防大賞」受賞

7月8日(土)、大東市サーティホールにおいて、「第38回大阪の消防大賞」を八尾市消防団が34年ぶりに受賞いたしました。大阪の消防大賞とは、産経新聞社が提唱し、大阪府民の生活と財産を守るため日夜活躍する優秀な消防職員、消防団員の功績を府民とともにたたえ、防火、防災意識の一層の高揚をはかろうというもので、昭和61年から開催しています。

第1部では表彰式や市長からの記念品贈呈、小学生による作文発表が行われ、続く第2部では大阪府下消防音楽隊が合同演奏会を行い、華やかな中にも格式を重んじ、すべての消防人の労に報いる式典となりました。

八尾市消防団は、昼夜問わず起こりうる大規模災害に備え、資機材の整備、訓練を実施し、また全ての女性団員が応急手当指導員の資格を取得し、普通救命講習等で指導しながら地域との連携を密にしています。これら平時の活動が評価され、この度の受賞に至りました。

これからもより一層身を引き締め、いつ起こるかかわからない災害に対して、市民の安心、安全のために平時の訓練や活動を大事にし、防火・防災への意識を向上させていかなければいけないと思っています。

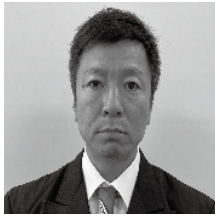
◆(久宝寺分団 佐野 吉宏)

新団員の紹介

令和5年度に消防団員の任命を受けられた、19名の新団員の皆さんにこれからの抱負について伺いました。

氏名(所属)

- ① 職業
- ② 趣味
- ③ 抱負



井垣 信秀 (西郡)

- ① 飲食業
- ② ゴルフ
- ③ まだまだ右も左も分かりませんが、地域の為にという思いで頑張ります。



中川 良和 (西郡)

- ① 自営業
- ② 祭り
- ③ 少しでも地域貢献できるように頑張ります。



平木 康晴 (西郡)

- ① 塗装工
- ② 釣り
- ③ 消防団員として地域と密着して頑張ります。



奥埜 哲生 (久宝寺)

- ① 会社員
- ② ゴルフ
- ③ 少しでも地域貢献が出来る様に頑張つて参ります。



石田 幸一 (曙川)

- ① 居酒屋 店主
- ② 魚釣り
- ③ 消防団員として1日も早く皆さんのお役に立てるように頑張つていきます。



近藤 功 (曙川)

- ① 設備業
- ② ゴルフ、スノーボード
- ③ 地域の為に、消防、防災活動を頑張つていきたいと思ひます。



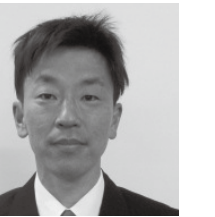
本莊 喜愛 (大正)

- ① 会社員
- ② ドライブ
- ③ 自分が少しでも地域に貢献出来るように精進します。



楠木 裕之 (大正)

- ① 自営業
- ② マラソン
- ③ 消防団員として、生まれ育つた地域の防災に貢献できるように精一杯頑張ります。



石川 誠 (曙川)

- ① 会社員
- ② バイク、登山
- ③ 地域のために少しでも貢献できるように、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



阪口 将 (南高安)

- ① 会社員
- ② カラオケ
- ③ 消防団員として、1日も早く地域の皆様のお役に立てるように、精一杯頑張ります。



松倉 良典 (南高安)

- ① 設備業
- ② 野球
- ③ 消防団員として、地域の安心安全を守り、どんな災害にも立ち向かえるように頑張つていきたいと思ひます。



川崎 直也 (南高安)

- ① 鉄工所
- ② キャンプ
- ③ 高齢化が進む社会で近所の方々と一緒に連携を取り、周りに頼られる消防団員を目指します。



矢野 凌士 (南高安)

- ① 自営業
- ② 野球 ゴルフ
- ③ 責任のある消防団員という役割を全力で全うしたいと思ひます。また、いろいろな行事等、積極的に参加したいと思ひます。



佐藤 城志 (山本)

- ① 理容業
- ② ロードバイク
- ③ 自分の生まれ育つた町、地域の方々が安心安全に日々暮らせる様、私自身も消防団員として1日1日成長するため努力し、尽力して行きたいと思ひます。



柳井 博信 (久宝寺)

- ① 自営業 (電気工 士)
- ② バイク、お酒、ソロキャン
- ③ 久宝寺に45年住み、小中高全て八尾市の学校で学びました。八尾市の為に、微力ではありますが貢献できるように頑張りたいと思ひます。



平野 奈央 (女性)

- ① 会社員
- ② 映画鑑賞、水泳
- ③ 積極的に活動に参加し、地域に貢献できるように頑張ります。



永尾 和哉 (志紀)

- ① 会社員
- ② 野球、ゲーム
- ③ 消防団員として新人ではありますが、1日も早く先輩方の力になれるように頑張つていきたいと思ひます。



上地 優斗 (山本)

- ① 会社員
- ② ゴルフ
- ③ 地域を守る消防団員としてより早く地域に貢献できるようにするため、精進していきます。



令和5年度消防団員任命式

4月1日(土)、大阪府中部広域防災拠点において、八尾市消防団員任命式がコロナ禍前と同様の規模で盛大に挙行されました。

開式後、大松市長からの祝辞をいただきました。八尾市消防団で長年に渡り活躍され、昨年度末で退団された退団者に感謝状が贈呈され、今年度より幹部へ昇任される団員に対し辞令が交付されました。

続いて新戦力となる新入団員に対しても辞令が交付され、八尾市議会議長から祝辞を頂き、松村团长から退団者への労いの言葉と昇任者、新団員への激励の言葉をいただきました。

式典の最後には、新入団員を代表して、南高安分団 中・南部分隊の松倉良典団員が「誓いの言葉」を松村团长へ伝え、閉式となりました。

大正分団では、今年度3名の団員が入団しました。新団員の本荘喜愛団員は、「今回新団員へ激励の言葉をいただき、新団員として訓練を積み重ね、消防団の一員としての自覚を持ち、先輩方の指導のもと、一日も早く一人前の消防

団員となって、私達の住む町が、ずっと安全で安心して暮らせるよう、全力で消防団活動に精励したいと思います。」と、とても頼もしい抱負を語ってくれました。我々八尾市消防団大正分団は「自らの地域は自らで守る」の消防団精神を大切に消防団活動に尽力していきます。



◆(大正分団 西田祥久)

恩智川水防訓練  
〔花園中央公園〕

4月29日(土)、恩智川水防事務組合主催の水防訓練が東大阪市花園中央公園にて行われ、東大阪市と八尾市の職員及び消防団員総勢120名が参加しました。

訓練は、豪雨により恩智川の水位が上昇し堤防より溢水したとの想定で、水防作業の技術向上と体制強化等を目的として行われました。私たち女性分団は、北西方面隊と共に改良越水止めスチール工法訓練を行いました。フェンス設置・土嚢作成運搬等の工程も、迅速に行うことができ自分の知識や技術を高める良い機会になりました。



近年、全国各地でこれまでに類を見ない自然災害が多発しております。実際の現場では、風雨で足場も悪く情報伝達も難しい状況が想定されます。そのような状況の中で、的確な活動をするためにも日頃の訓練や災害に対するの備えや心構えが非常に大切だと強く感じることが出来ました。

私たち女性分団も、八尾市消防団の一員として活躍できるように今後ともしっかりと努めてまいります。

◆(女性分団 小宮美奈)



基礎教育訓練(A・B課程)

5月14日(A課程)、6月4日(B課程)の2日間、大阪府立消防学校にて、新団員を対象とした基礎教育訓練が実施されました。

受講内容については、A課程では、ポンプ操作(器具取扱要領、放水訓練)、安全管理(座学)、訓練礼式(規律)を、B課程では、防災訓練(泥歩行訓練)、救急救助(搬送及びロープ結索)、火災防御(座学)を学びました。



基礎教育訓練を受けられた団員の皆様は、消防団員としての自覚を意識するとともに、責任の大きさを再認識して頂けたと思います。今回の基礎教育訓練で学んだことを基礎とし、各分団にて復習、応用を繰り返し、個々のスキルアップ、分団の活性化、結束力に生かし、来るべき有事の際には地域防災の要である消防団員として大活躍されることを期待しています。

◆(南高安分団 山本大寛)

放水訓練

5月15日(月)、北東方面隊高安分団と南東方面隊曙川分団合同の自主夜間訓練を高安分団管区内の総池にて行いました。

訓練内容は、新人団員教育及び明るく作業しやすい昼間ではなく、機材や照明が限られている夜間に行い、水利は「自然水利しかない」という極めて厳しい条件の中で、いかに現場で迅速・的確に放水までの一連の操作が行えるかという想定訓練でした。

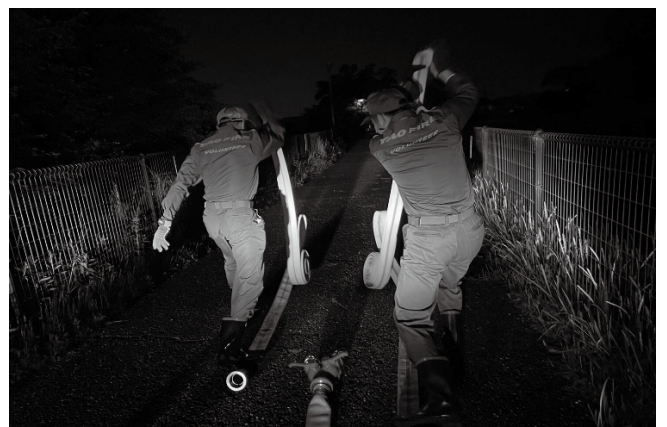
訓練を開始したところ、池に直接吸管を入れ、ポンプアップするもなかなか圧が上がらず放水が出来ませんでした。

一度訓練を中止し、各部の点検を行ったところ、吸管部の結合箇所にて緩みがあり、そこから圧が漏れていたことが判明しました。

その後、結合箇所を締め直し、訓練を再開しました。放水は分岐管を使用し、1線2口で行いました。

各持ち場を決め、新人団員に教育しながら掛け声やホース延長時の注意点・結合方法などを説明し訓練を進めました。

やはり、明るい現場ではなく暗



闇という事もあり手こずる場面も多々ありましたが、無事に放水することができ、学ぶ事が多い訓練となりました。

今回、迅速に吸水ができなかった反省点もあり、平時から資機材や車両の点検がとても重要だということを再認識いたしました。

火災は、いつ、どこで、どんな状況で起こるか分からないので、全体で意識を高めて想定訓練及びいつでも有事に対応できる体制を整えられるよう努めていこうと士気が高まる訓練となりました。

◆(曙川分団 吉安直也)

藍綬褒章 受章

5月9日(火)、大阪府公館において、令和5年春の褒章受章者の大阪府伝達式が執り行われました。

褒章とは、特定の社会的分野における、事蹟や徳行のすぐれた方に与えられるもので、種類は藍綬、黄綬、紫綬、緑綬、紅綬とあって、綬色によってそれぞれ名称づけられています。

その中でも「藍綬褒章」とは、消防団員や女性防火クラブ員として永年にわたり消防防災活動に献



身的に努力し、消防の発展に大きく寄与した方を対象としています。

この度八尾市消防団員として令和5年春の藍綬褒章を受章されたのは、山本分団の分団長として活動されている石井一夫分団長です。

石井分団長は、昭和59年4月に八尾市消防団に入団されてから、永きにわたり地域住民の安全安心のために消防団活動に取り組んでおられ、令和4年4月には山本分団の取りまとめ役となる「分団長」に就任されました。以後も分団長として積極的に消防団活動に従事され、部下団員からの信頼も厚く、他の団員の模範となり今日までご活躍されていることが評価され、この度の受章に至りました。

私たち山本分団の団員としても、石井分団長の藍綬褒章受章はとても喜ばしいことでありますが、それと同時に今後より一層、いつ起こるかかわからない災害に備え、地域の方々と交流を深めながら、この度の石井分団長の受章に恥じることはないよう、引き続き山本分団として防災意識の向上、地域防災力の向上に努めていかなければならないと改めて感じました。

◆(山本分団 川西明)

美園地区 自主防災訓練

5月21日(日)、美園小学校において、自主防災訓練を実施しました。今回は、新型コロナウイルスも5類へ移行となったため、煙中体験が加わり、水消火器、バケツリレーを消防署栄町出張所と久宝寺分団、自治会の方々の参加により実施することができました。

子供たちへ水消火器の使い方や初期消火の説明を行い、実際に使用してもらいました。煙中体験では、視界の悪さ、煙の中の動き方を体験してもらい、バケツリレーにおいては、水の代わりに玉入れの玉を使用し、紅白に分かれて競争をするなど楽しく体験して



いただきました。

また、美園自治会の方々には、小学校のプールで可搬ポンプを活用しての放水訓練を実施していただきました。消防団員による取扱説明及び実演を行った後、自治会の方々にもポンプ側、放水側に分かれてそれぞれ体験し、放水時の水圧に負けないための補助員の重要性も理解していただきました。近年、様々な災害が発生しており、防災への意識を高く持たれた方が多く、良い訓練が出来たと思います。自分自身ももっと意識、スキルを上げていきたいと思います。

◆(久宝寺分団 岩本暢宏)



**木村重成祭**

5月27日(土)、幸町第1公園内において、木村重成祭が開催されました。

5月なのに気温が高かったのですが、暑さを吹き飛ばすぐらいの活気があり地域の皆様で盛り上がりました。

今回、西郡分団は警備を担当しました。他分団の方達にも応援いただき、消防団員同士の絆が結ばれたと思います。

また来年も地域の皆様と今年以上の活気で盛り上げて行きたいと思っています。



◆(西郡分団 津曲望)

**志紀分団管内消火栓調査**

5月末から8月末までの4ヶ月間、志紀分団では4分隊全ての管内の消火栓の場所と蓋などの異常の有無について確認してきました。確認方法は、それぞれの管轄で消火栓が記載された地図を確認しながら、徒歩での見回りです。

徒歩での確認を行ったことで、消火栓の確認以外にも良かったこともありました。近年、町会や地域の方々との関係が希薄になりつつあるなど感じていた中、徒歩での確認中に、「ご苦労様です。今



**老原分隊**



**弓削分隊**



**天王寺屋分隊**



**田井中分隊**

日は何をされているのですか?」と何度か住民の方々に声をかけていただき、コミュニケーションを取ることができました。普段から意識しないと消火栓を把握できず、火事や大規模災害などのいざという時に速やかに消火栓にホースを結合して消火活動することが難しく被害が大きくなる可能性が高いと感じました。

今後も地域に貢献する為に、定期的に防災活動の訓練をしたいと思えます。

◆(志紀分団 竹田哲郎)

**新団員教養訓練**

5月20日(土)・6月10日(土)2回に分けて高安分団は、若手団員を対象とした放水訓練を行いました。

コロナ禍において訓練等実施することが少なくなり、特に若い団員は訓練だけでなくイベント関連にも参加する機会が減っていました。コロナの5類移行に伴い若い団員だけでなく全団員の放水技術の練度を上げるべく放水訓練を実施しました。

1日目は、最初にポンプ操作経験者や幹部団員の指導の下、手び





ろめによるホース延長・筒先の結合・分岐管の操作等、基本的な資機材の取り扱いを空操作で行い、動作や周囲の状況、結合の安全確認を重点的に行います。その都度、幹部指導者が注意点を指摘をすることで改善していくのがわかりました。

2日目は、実際に地元の池を水利に利用し通水しての放水を行いました。特に若い団員には放水時の姿勢や筒先の操作はもとより、水圧の強さを体感してほしい訓練でした。初めは水圧で筒先が振られて大変そうでしたが、放水時の正しい姿勢などを指導した後は安定した放水ができていました。

実際、火災出動時に消防団が消火活動を行うことは極々稀ではあると思います。しかしそういう事態になった時に団員各々が「わからないから誰かがやってくれる」ではなく、指揮者の指示に対し「誰でもその状況の指示に対応できる」よう定期的な訓練を高安分団は行なっており、個人的にも防災意識と資機材取扱いの練度を今以上に高めていきたいと思っています。

◆(高安分団 竹内孝太郎)

**用和小学校区 防災訓練**

6月4日(日)、八尾市立用和小学校において、まちづくり協議会主催の防災訓練が行われました。コロナも5類に移行し、街中ではマスク姿の人々が減りつつあるなか、今年も沢山の人に参加していただきました。なかでも、親御さんに手を引かれて参加している子供さんが多数おられ、楽しそうに訓練に励んでいました。幼少のころからこういった訓練やイベントに参加し、防災意識を高めていっていただきたいものです。

また、大阪経済法科大学の学生消防隊SAFETYの皆さんにもご協力いただき、ありがとうございます。



ました。次世代の消防・防災を任せていきたいぐらいの活躍でした。

**龍華分団活動報告**

◆(八尾分団 梅本司)

龍華分団では、様々な地域活動に参加しています。これまでに行った活動を報告させていただきます。

① 5月28日(日)

JR久宝寺駅直結のメガシティタワーにて防災訓練を実施しました。水消火器による消火器の使用体験や煙中体験等、たくさんの方の住民の方にご興味を持っていただき、大変有意義な訓練を実施することができました。



② 6月4日(日)

亀井小学校区まちづくり協議会主催の地域フェスタに参加しました。積載車の展示や放水訓練、消防団員募集の啓発活動を行いました。放水訓練では、小さなお子様から大人の方まで、たくさんの方の方に体験していただき、大盛況でした。



③ 8月5日(土)

亀井小学校にて亀井地区福祉委員会主催の納涼祭が開催され、西門前の警備及び自転車置き場への誘導を行いました。事故やトラブル等もなく、皆様納涼祭を楽しまれました。これからも龍華分団は地域との関わりを大切にして、積極的に地域行事に参加し、地域に根ざした活動を行っていききたいと思います。

◆(龍華分団 佐々木祐介)

分団長会議に潜入してみました

令和5年度広報部会委員長を務めています大正分団の今仲幹夫です。広報委員の皆様にご挨拶です。ビックスを発信していただいています。消防団を知ってもらおうと、上田副委員長と岩本暢宏副委員長と私で6月の分団長会議を見学してきました。

分団長会議は消防本部次長と警防課消防団係の職員の方と消防団長をはじめとする団本部の方の出席による会議で、毎月一度開催されています。

冒頭に、6月2日の線状降水帯による豪雨被害状況と警戒出場の状況報告、出場時の活動内容を消防本部と共有する内容等について改善する旨が伝えられました。

今回の議題は、次のとおりです。

- 【審議・確認事項】
- 令和5年度の定例表彰者
- 分団長以上の退団希望
- 中河内地区支部消防総合訓練
- 消防団員教育訓練
- 【お知らせ事項】
- 救助資機材講習「ドローン講習」
- 大阪の消防大賞
- 広報部会の開催
- 第2級陸上特殊無線技士資格取得講習
- まちづくり協議会主催の訓練予定
- 今後の行事予定

想像以上に議題がたくさんありました。

審議終了後、訓練部会の会議も行われました。中でも、中河内地区支部総合訓練の議題では、誰がどの部隊の隊長で、消防車両での出場はどの分団が車両で参加するのか、80名の参加人員の各分団の割り振りはどうするか等、長い時間の審議が行われました。

消防団員教育訓練については、幹部科「初級指導課程」「現場指揮課程」「分団指揮課程」、機関科「ポンプ車課程」、救助資機材講習「ドローン講習」があり、団員の経験と実績と階級の条件を満たした者から選考し受講します。人選における議題は大変だと感じました。

また、毎年行われている消防署・消防団合同訓練の議題は所要時間が一番長く、団員が一人でも多く参加してもらえよう訓練内容もとより、日程・開催時間への配慮が随所に見えました。訓練関係議題は、どの議題よりも幹部の皆様が真剣に審議されていました。八尾市消防団の団本部の分団長会議は、団活動の心臓部でした。普段のままで感じることができないことを今回の分団長会議の見学で感じることができました。団本部の方

と分団長の皆さんが職務を務めあげるのは並大抵ではないということですね。経験と人望と消防団員の心構えを兼ね備えた方々が幹部の職務を務めあげ、分団を率いておられます。自分も一人でも多くの人に喜んでもらえるように邁進します。

団本部の皆様本当にご苦労さまです。この度は分団長会議を見学させていただきましたありがとうございます。自分が所属する分団の分団長にも日頃の感謝をつたえます。

取材メモ

「広報委員長 今仲 幹夫」

消防団係の方が前もって会議資料を消防団長はじめ団本部の方と全分団長に届け、会議が円滑に進むよう段取りをしておらっしゃいますが、会議は約二時間要します。皆さんの労力を無駄にすることの無いように、消防団活動に取り組みようと改めて思った見学取材でした。

「広報副委員長 上田 聡」

この度、分団長会議の見学という貴重な経験をさせていただきました。今後の活動内容や有事の対応など様々な意見交換がされており、各分団との情報共有や連携が図られ、チームとしての一体感が感じられる内容でした。幹部の皆様が消防団としての活動に真摯に向き合っている様子をの当たりにし、身の引き締まる思いがいたしました。

「広報副委員長 岩本 暢宏」

一番印象に残ったのが、冒頭の警戒出場時、出場している団と消防本部との情報交換(共有)をより密にすることの話は、すぐく大事な事だと改めて思いました。

【分団長会議の様子】



消防本部1階 研修場

広報部員名簿

委員長	大正分団	今仲 幹夫
副委員長	高安分団	上田 聡
委員	久宝寺分団	岩本 暢宏
委員	久宝寺分団	佐野 吉宏
委員	西郡分団	浅野 一昭
委員	八尾分団	津曲 望
委員	龍華分団	梅本 司
委員	大正分団	竹田 英夫
委員	曙川分団	大内 一宏
委員	南高安分団	佐々木 祐介
委員	高安分団	西田 祥久
委員	山本分団	宮原 直也
委員	竹内分団	山本 雄真
委員	川西分団	巽 純也
委員	岩崎分団	竹内 孝太郎
委員	竹田分団	岩崎 裕明
委員	志紀分団	藤田 哲郎
委員		達哉